

Webページだけじゃない 全ての答えは検索で探せる

●検索結果ページだけでも知りたい情報を確認できる

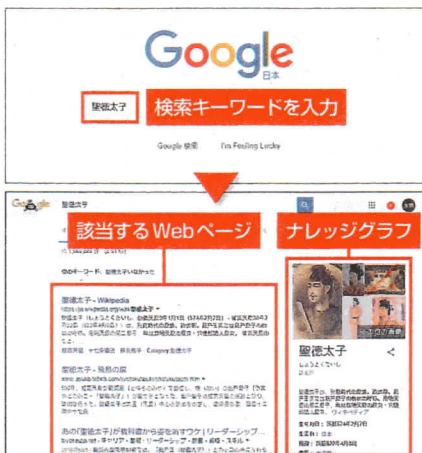


図1 Google検索のWebページで、検索欄にキーワードを入力し、[Enter]キーを押す(上)。キーワードが掲載されたWebページがリストアップされ、キーワードによっては画面右側に「ナレッジグラフ」が表示される(下)



図2 ナレッジグラフの内容は、キーワードの意味に応じて変わる。人名なら生年月日や出身地、施設名なら営業時間や混雑する時間帯などが表示され、検索結果のWebページを開かなくても、主要な情報を得ることができる

インターネット検索サービスの定番はGoogle検索だ。使い方は簡単。検索欄にキーワードを入力すれば、関連するWebページがリストアップされる。キーワードがよく知られた人名や施設名などなら、検索結果の画面右側に「ナレッジグラフ」として関連情報が表示されるので、場合によってはWebページを開く手間さえ省ける(図1)。

ナレッジグラフに表示される内容は、さまざまなWebサイトから収集されている。キーワードが人名なら生年月日や家族、施設なら所在地や営業時間、食べ物なら成分など、主だった情報を一通り確認できる(図2)。

スゴ技 普通の言葉で検索できる

例えば「IT」と「ICT」の違いを調べるなら、「IT ICT 違い」のように、複数のキーワードをスペースで区切るのが検索の常識。しかしGoogle検索なら、「ITとICTの違いは？」のような普通の言葉で検索できる。「××とは？」のような疑問文なら、「強調スニペット」という説明文の表示だけで疑問が解決することも多い(図3)。

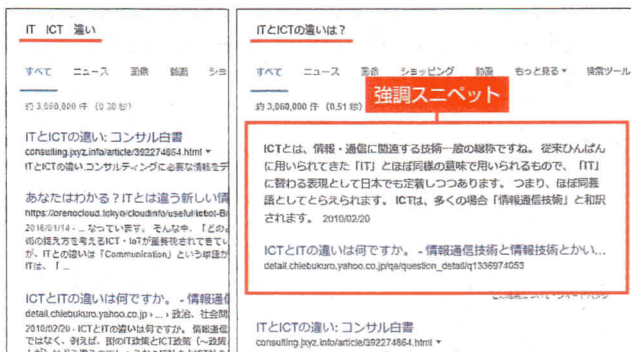


図3 通常は、「IT ICT 違い」のように、複数の言葉はスペースで区切って入力するが(左)、「ITとICTの違いは？」のような普通の言葉でも検索できる(右)

便利技 映画監督の代表作品を一覧

「あの映画監督の代表作って何だっけ？」といった疑問は、「(監督名) 作品」の検索で解決できる。名前が俳優や監督なら代表的な映画、作家なら著作物、写真家なら写真集などが、表紙やポスターの画像で一覧表示される(図4)。表示は人気順になっているが、右上のメニューから新しい順、古い順に並べ替えが可能だ。



図4 作家や監督などの代表作を探すなら、「氏名 作品」で検索。映画監督なら、代表作のポスターなどの画像が人気順に並び、並べ替えも可能だ

Chrome

Googleが無料公開するWebブラウザ。各種のOSに対応する。いくつかのGoogleサービスでは、Chromeでの利用を前提にした機能を用意している。

Googleサービスの

スゴ技 写真画像で被写体の情報を検索できる

例えば、バスツアーで観光地を巡ったときの写真を見て、「これ、どこだっけ?」と思索する。そんなときは写真自体で検索しよう。

検索画面右上にある「画像」をクリックし、検索欄右に現れる「画像で検索」を押して調べたい写真をアップロードする(図5、図6)。Webブラウザが「Chrome」なら検索欄に直接写真をドラッグしてもよい。

検索結果の画面には、その写真から推定される関連情報や、類似する画像が表示される(図7)。表示される関連情報が不十分な場合は、類似画像から似ているものをクリックしてみよう。その写真が掲載されているWebページに情報があるかもしれない。



図5 手持ちの写真の情報を探すなら、Googleの画面で右上の「画像」をクリック(上)。「画像で検索」をクリックする(下)

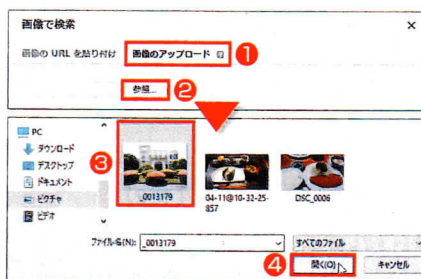


図6 「画像のアップロード」をクリックし、「参照」で検索したい画像を選ぶ。「Chrome」なら、検索欄へのドラッグでも可能



図7 アップロードした画像に関連するWebページがリストアップされるので、名前を確認する。「類似の画像」をクリックすれば、さらに詳しい情報が得られる

便利技 カレーライスのカロリーも、東京ドーム3個分も計算

Googleで探せるのはWebページだけではない。出張先の天気からカレーライスのカロリーまで、即座に答えてくれる(図8)。計算も得意だ。「5ドルを円で」といった通貨換算や、「東京ドーム3個分の容量」だって計算できる(図9)。

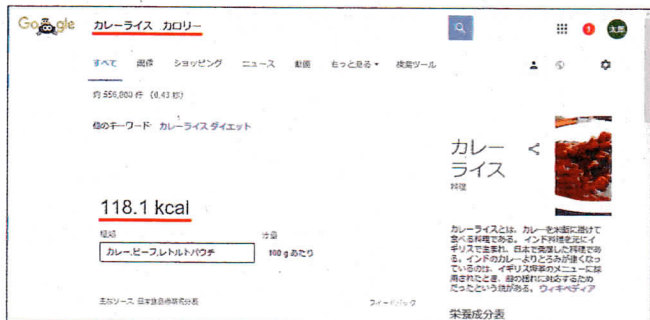


図8 カレーライスのカロリーを知りたくなったら、Googleで「カレーライス カロリー」を検索。100g当たりのカロリーが分かる

検索したい内容	入力する項目	検索の入力例
天気	地名 天気	名古屋 天気
映画	映画タイトル 地名	羅生門 銀座
株価	株価 企業名	NTTの株価
計算	数式	1000*4253/95
換算	金額 単位	120ドルは何円
ルート	出発地から目的地	赤坂から新宿
試合結果	チーム名	ヤンキース

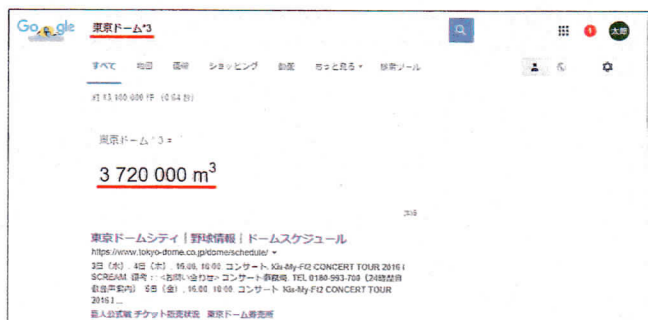


図9 例えば東京ドーム3個分の容量なら、「東京ドーム*3」で検索。すぐに立方メートル数が分かる

スゴ技 検索記号でピンポイント検索

2つのキーワードをスペースで区切って入力し、両方に関連するWebページを探すのは基本のキホン。さらに、「東京以外のオリンピック」のように、特定のキーワードを除外する検索も可能だ。「オリンピック -東京」のように除外したい言葉の直前に半角のマイナス記号を付ければよい。年代を絞るなら間に半角ピリオド2つを入れて「1950..1959」、PDFを探すなら「filetype:pdf」などだ。このように、検索記号を知れば、情報を絞り込んで探することができる。

指定条件	検索記号	検索の入力例
除外	-	オリンピック -野球
サイト指定	site:	site:nikkeibp.co.jp
類似サイト	related:	related:google.co.jp
または	or	ぶどう狩り or 梨狩り
数値範囲	..	1950..1970
完全一致	" "	"Learn from the mistakes"
ファイル形式	filetype:	filetype:pdf

便利技 ライセンスフリー画像を探す

インターネット上の画像などは、私的利用の範囲外で使うと著作権違反になる。知人に公開するなどの目的で使いたいなら、ライセンスフリーの画像を探して利用しよう。

画像検索の後に「検索ツール」をクリックし、「ライセンス」をクリック(図12)。「再使用が許可された画像」で絞り込み、元のWebページでもライセンスを確認しよう。

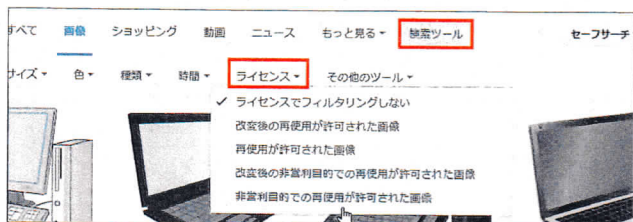


図12 検索結果の絞り込みに有効な「検索ツール」。画像なら色合いやライセンス、記事なら更新期間や言語で絞り込みが可能だ

便利技 検索記号なしで条件を指定

検索記号付きのキーワードを駆使して検索する姿は、いかにも上級者風だ。しかし、めったに使わないような検索記号までを無理に覚えておく必要はない。検索結果の画面右上にある歯車アイコンで「設定」メニューを開き、「検索オプション」を選べば、分かりやすい画面で検索記号に相当する条件を指定できる(図10)。「含めないキーワード」「数値の範囲」「言語」「地域」「サイトまたはドメイン」など、必要に応じて条件を指定して「詳細検索」を押せばよい(図11)。

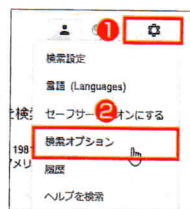


図10 検索結果の画面で「設定」をクリックし、「検索オプション」をクリックする

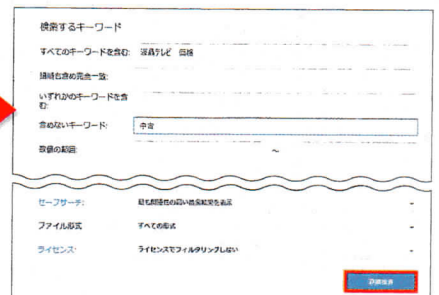


図11 指定したい条件を入力して、「詳細検索」ボタンをクリックする

便利技 “アダルト”でない「AV」を検索

例えば、AV機器関連を探そうとしても、「AV」をキーワードにするとアダルト向けのWebサイトなどがずらりと並んでしまう。こういったアダルト向けを回避したいなら、「セーフサーチ」をオンにしよう(図13)。性的、暴力的などの不適切なコンテンツを含むWebページを検索結果から除外することができる(図14)。



図13 「設定」をクリックし、「セーフサーチをオンにする」をクリック

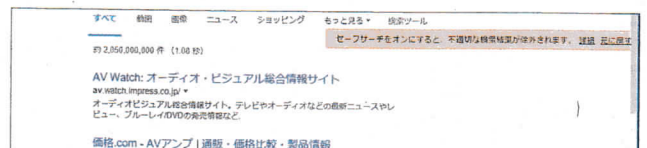


図14 「AV」で検索しても、アダルト向けとは無縁のAV機器関連ページを探せる

セーフサーチ

Google検索の結果から、露骨な性描写を含む動画や画像、不適切なコンテンツにリンクされている可能性があるWebページなどを除外する機能。

用語解説

スゴ技 | スマホで大きく進化するGoogle検索

「オーケーグーグル」とAndroidスマホに呼びかけると、日本語での音声検索ができるようになったのは、約2年前のこと。Android 4.3以降なのに呼びかけても反応しないなら、設定を確認しよう。最近のバージョンなら、「任意の画面から起動」をオンにすることで、ほかのアプリを使用中でも音声検索を呼び出せる(図A)。

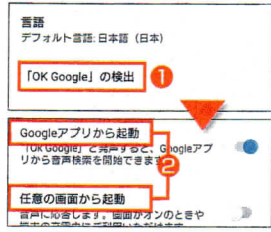
音声で検索するには、「今日は傘いる？」のようにスマホに話しかける(図B)。言葉の検索だけでなく、音楽を聞かせれば曲名を答えてくれるし、「虹の画像」と呼びかければ美しい虹の画面も見られる(図C、図D)。

音声検索で特に進化しているのが、ほかのGoogleアプリとの連携だ。「30分後に起こして」と言えばアラームアプリで設定される(図E)。「××とメモして」と言えば、メモ用のアプリが起動してメモを残す(図F)。

スマホのGoogleアプリで、必要な情報を適切なタイミングで知らせてくれる気の利いたコンシェルジュのような機能が欲しいなら、「グーグルナウ」を使ってみよう(図G)。Google検索の入力欄をタップすれば、今日の天気や気になるニュース、Googleカレンダーに登録した打ち合わせの予定、帰宅までの時間予測などをタイミング良く表示してくれる(図H)。表示する内容のカスタマイズも可能だ。

画面に表示された内容で気になる情報を見つけたら、とりあえずGoogle検索でキーワードを入力するというのは昔の話。「ナウオンタップ」をオンにしておけば、ホームボタンを長押しするだけで情報を探せる(図I)。ナウオンタップは、画面上の画像やテキストを認識しており、それらに基づいて関連するWebページやSNSを自動的に検索する(図J、図K)。

●「オーケーグーグル」で音声入力を開始



図A 設定画面で「音声」→「OK Googleの検出」と選択、項目をオン



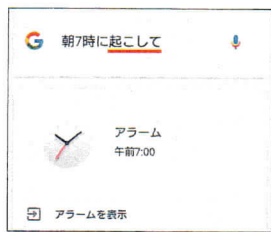
図B 雨が心配なら「今日は傘いる」と質問。現在位置の天気予報が見られる



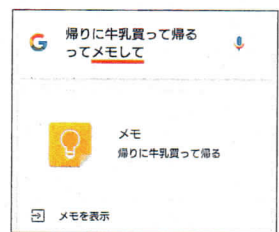
図C 流れている音楽が気になったら「オーケーグーグル」の後に音符をタップ



図D 「××の画像」と呼びかければ、見つかった画像が表示される

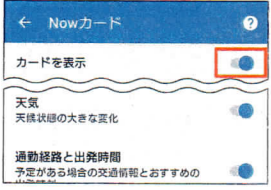


図E アラームは「アラーム設定 午前×時」でも、「朝×時に起こして」でもよい



図F 簡単にメモするならGoogle Keepが便利。最後に「メモして」と付ける

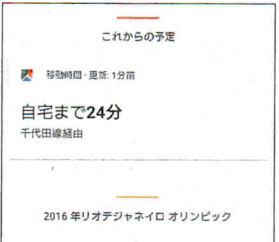
●いつも寄り添うコンシェルジュの「グーグルナウ」



図G 設定画面で「Google」→「検索とGoogle Now」→「Nowカード」と選択し、「カードを表示」をオンにする



図H Google検索のキーワード入力欄をタップすると、最新情報が表示されるようになる。スワイプで下に隠れた情報を見られる



●画面を認識して自動検索する「ナウオンタップ」



図I 設定画面で「Google」→「検索とGoogle Now」→「Now on Tap」をオンにする



図J 表示中の写真から、関連情報を表示



図K 記事のテキストから関連情報を表示

*画面はいずれもAndroid 6.0。旧バージョンでは非対応の機能もある